

第2章 町の概況と特性

1 人口動態

(1) 人口の推移

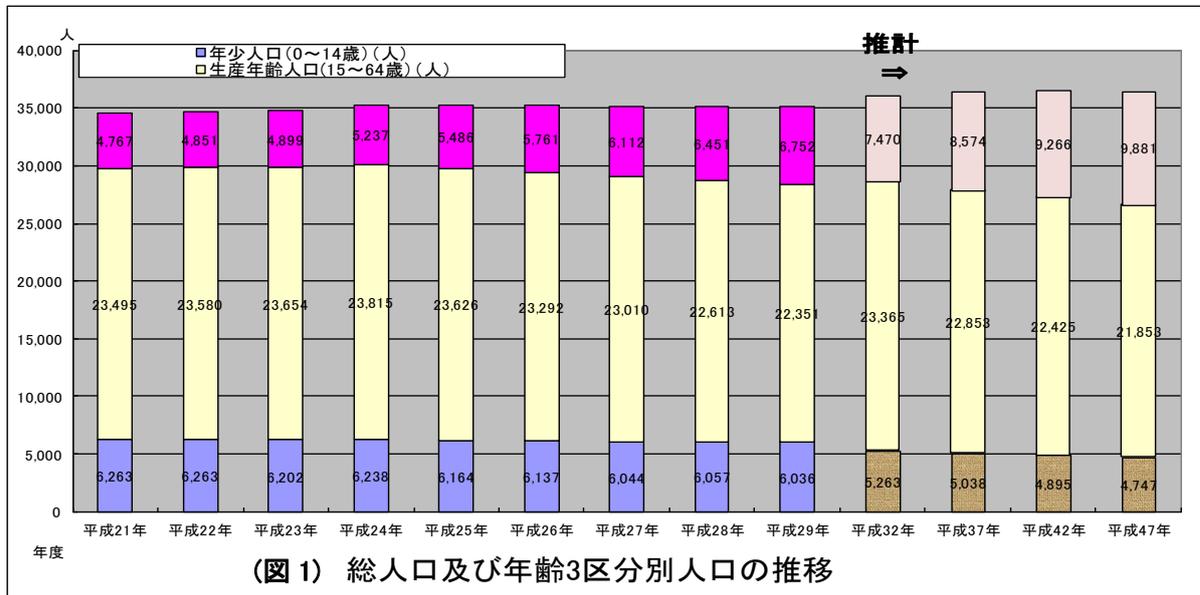
本町の総人口は平成 24 年度までは毎年増加しておりますが、平成 28 年度には 35,121 人となっています（表 1）。

年齢三区分の人口推移をみると、年少人口が減少傾向にある一方、老年人口は着実に増加しており、少子高齢化が進行していることがわかります（図 1）。生産年齢人口の減少の原因の一つとして早世死亡（65 歳未満で亡くなる）割合が高いという事が考えられます。沖縄県は日本の中で早世死亡割合がワースト 1 位にあります。またその沖縄県の中でも本町はワースト 10 に入るほど、65 歳未満で亡くなる人が多いという事が高齢化の一つの要因であるとも考えられます。

（表 1）〔総人口及び年齢 3 区分別人口の推移〕

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	⇒推計			
西原町	総人口(人)	34,525	34,694	34,755	35,290	35,276	35,190	35,166	35,121	35,139	36,098	36,465	36,586	36,481
	年少人口(0～14歳)(人)	6,263	6,263	6,202	6,238	6,164	6,137	6,044	6,057	6,036	5,263	5,038	4,895	4,747
	生産年齢人口(15～64歳)(人)	23,495	23,580	23,654	23,815	23,626	23,292	23,010	22,613	22,351	23,365	22,853	22,425	21,853
	老年人口(65歳以上)(人)	4,767	4,851	4,899	5,237	5,486	5,761	6,112	6,451	6,752	7,470	8,574	9,266	9,881
	構成比(%)													
	年少人口	18.1	18.1	17.8	17.7	17.5	17.4	17.2	17.2	17.2	14.6%	13.8%	13.4%	13.0%
	生産年齢人口	68.1	68.0	68.1	67.5	67.0	66.2	65.4	64.4	63.6	64.7%	62.7%	61.3%	59.9%
	老年人口	13.7	13.8	13.9	14.7	15.5	16.4	17.4	18.4	19.2	20.7%	23.5%	25.3%	27.1%
沖縄県	構成比(%)													
	年少人口	18.0	17.9	17.8	17.8	17.6	17.6	17.5	17.5	17.3				
	生産年齢人口	65.1	65.2	65.4	65.2	64.7	64.4	63.9	63.0	62.6				
	老年人口	16.9	16.9	16.8	17.0	17.7	18.0	18.7	19.5	20.1				

資料：西原町「住民基本台帳」(各年9月末日現在)、沖縄県「住民基本台帳人口」(H25まで3月末現在、H26以降1月1日現在)



(2) 高齢化の推移

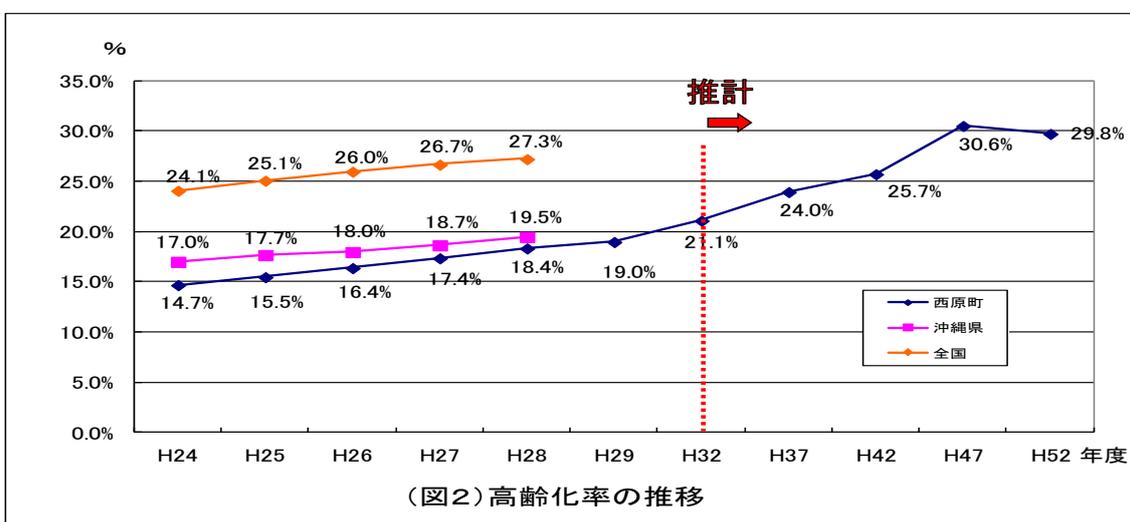
平成 21 年以降、全国、沖縄県、本町においても高齢化率は着実に進行しています。平成 28 年度では、本町の 18.4%に対し、全国が 27.3%、沖縄県が 19.5%となっており、本町の高齢化率は全国より 8.9 ポイント低く、沖縄県より 1.1 ポイント低くなっています。

平成 25 年度では沖縄県と本町の差は 2.2 ポイントありましたが、その差が縮まっており、比較的若い街である本町も確実に高齢化が進行しています（表 2、図 2）。

（表 2）

		推計→										
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32	H37	H42	H47	H52
西原町	総人口	35,325	35,276	35,190	35,166	35,121	35,139	36,107	36,407	36,494	36,370	35,967
	前期高齢者	2,849	3,005	3,143	3,335	3,527	3,696	4,185	4,385	4,021	5,054	4,344
	後期高齢者	2,346	2,481	2,618	2,777	2,921	3,056	3,441	4,343	5,376	6,058	6,361
沖縄	総人口	1,422,938	1,437,994	1,448,358	1,454,023	1,448,656	1,467,071					
	前期高齢者	114,659	121,008	124,479	130,797	138,340	145,469					
	後期高齢者	127,644	132,890	136,599	140,751	144,232	148,936					

		推計→										
構成比(総人口比)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32	H37	H42	H47	H52
西原町		14.7%	15.5%	16.4%	17.4%	18.4%	19.2%	21.1%	24.0%	25.7%	30.6%	29.8%
沖縄県		17.0%	17.7%	18.0%	18.7%	19.5%	20.1%					
全国		24.1%	25.1%	26.0%	26.7%	27.3%	27.7%					



資料：平成 20 年～平成 23 年 西原町、沖縄県ともに「保健所概況」
 西原町「住民基本台帳」（各年 9 月末現在）、
 沖縄県「住民基本台帳人口」（各年 1 月 1 日現在）
 全国 総務省統計局「人口推計年報」（各年 10 月 1 日現在）
 西原町推計 ことばきプラン 2015

(3) 市区町村別生命表による平均寿命

男女とも平均寿命は伸びてきています。平均寿命の全国順位を平成 22 年度と平成 27 年度で比べると、男性は西原町が全国 50 位圏外で変わらず、沖縄県が 2 位から 36 位となっています。女性は西原町が全国 32 位から 12 位へ、沖縄県が 8 位から 7 位となっています。

（表 3）

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
西原町 (男)	77.3	77.4	78.5	79.2	79.4	80.5	81.3
西原町 (女)	83.0	84.3	85.5	86.6	87.6	87.8	88.4
沖縄県 (男)	75.9	76.7	77.2	77.6	78.9	79.4	80.3
沖縄県 (女)	82.6	84.7	85.0	86.1	86.9	87.0	87.5

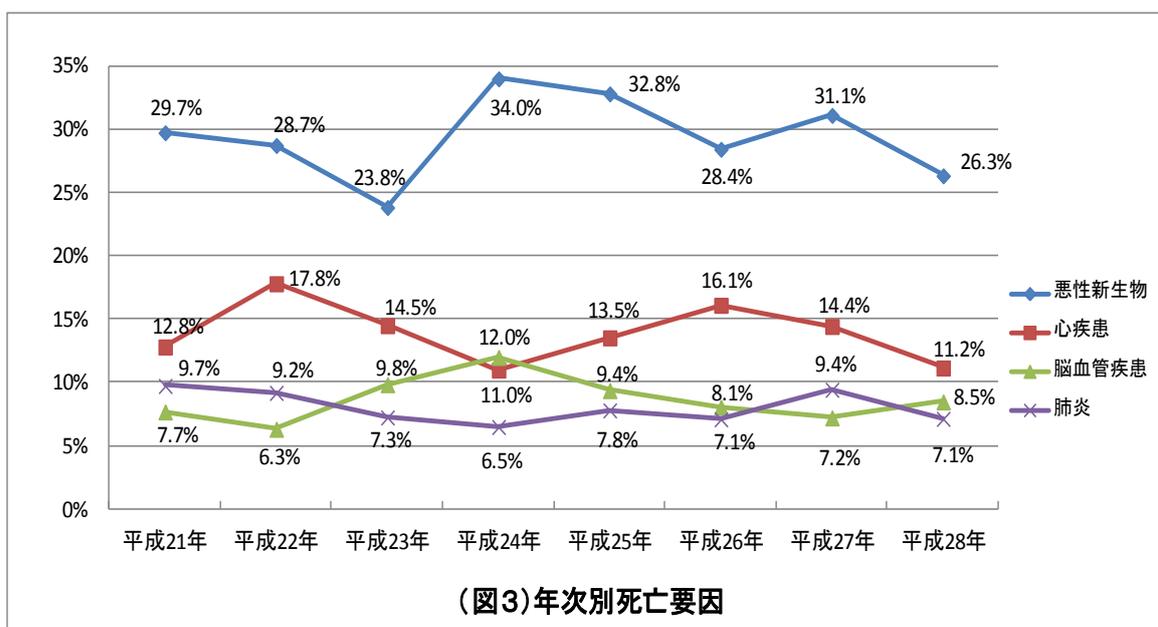
(4) 死因の状況

本町の主要死因の変化をみると、悪性新生物の割合が一番高く、心疾患、脳血管疾患と続いています。平成28年度までに、悪性新生物、心疾患は減少傾向にあり、脳血管疾患、肺炎の割合は横ばいで推移しています（表4、図3）。

（表4）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
総数(件)	195	174	193	200	192	211	180	224
悪性新生物	58	50	46	68	63	60	56	59
心疾患	25	31	28	22	26	34	26	25
脳血管疾患	15	11	19	24	18	17	13	19
肺炎	19	16	14	13	15	15	17	16

資料 各1～12月統計 保健所概況より



保健所概況より

2 出生

本町の出生率は、全国と比較すると高く、沖縄県と比較すると低くなっています(表1)。

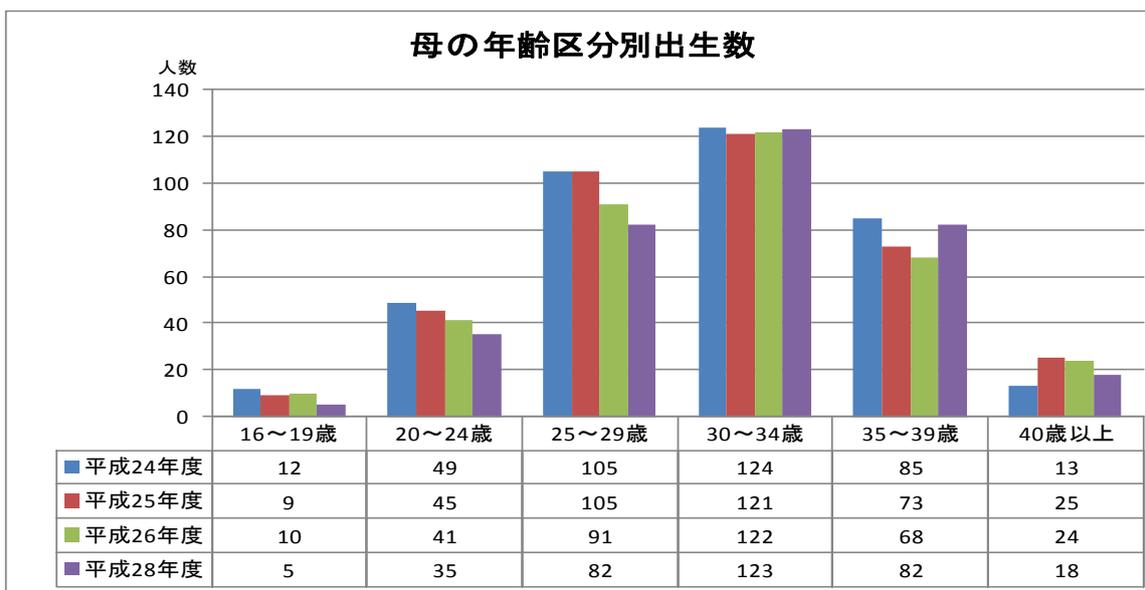
(表1) 出生数、出生割合の推移

割合:人口千対

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
西原町	出生数	389	400	374	388	375	356	368
	割合(%)	11.3	11.6	10.9	11.2	10.9	10.1	10.5
沖縄	出生数	16,744	17,098	16,918	17,074	17,209	16,373	16,941
	割合(%)	12.2	12.3	12.1	12.2	12.2	11.3	11.7
全国	出生数	1,070,035	1,071,304	1,050,698	1,037,101	1,029,816	1,003,539	1,005,677
	割合(%)	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	7.9	7.9

保健所概況より

母親の年齢区分別でみた出生数は、平成25年度以降、29歳未満での出生数が減少しており、30～34歳が一番多くなっています。(図1)。



(図1) ※各年1月～12月統計 厚生労働省：人口動態調査票(出生票)

多胎の場合も1人で計上しています。西原町における外国人を含みます。

出生時の体重が2,500g未満の低出生体重児については、神経学的・身体的合併症の他、成人後に糖尿病や高血圧等の生活習慣を発症しやすいとの報告がされています。

西原町の低出生体重児の出生率は、全国と比較して高い状況となっています(表2)。

(表2) 出生数及び低出生体重児出生率

	H24			H25			H26			H27		
	出生数	低出生体重児	割合									
にしはら	388	45	11.6	375	39	10.4	356	45	12.6	368	39	10.6
管内	3,404	393	11.5	5,255	574	10.9	5,042	594	11.8	5,297	524	9.9
沖縄	17,074	1,979	11.6	17,209	1,957	11.4	17,209	1,957	11.4	16,941	1,848	10.9
全国	1,037,231	99,311	9.6	1,050,698	98,624	9.4	1,003,539	95,768	9.5	1,005,677	95,206	9.5

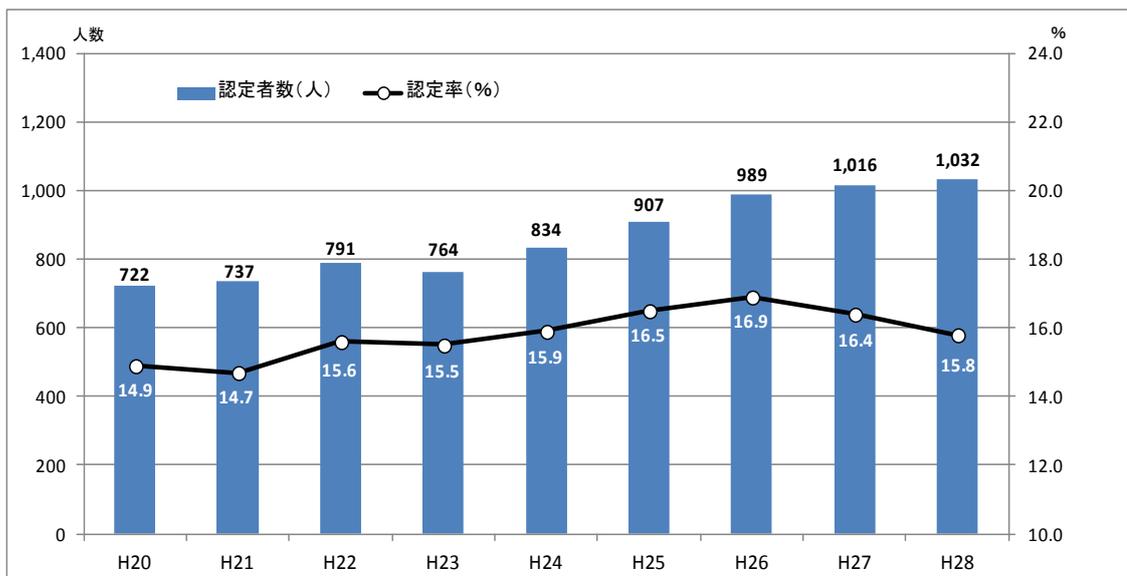
保健所概況より ※各年1月～12月統計、全国 人口動態調査より

3 介護保険の状況

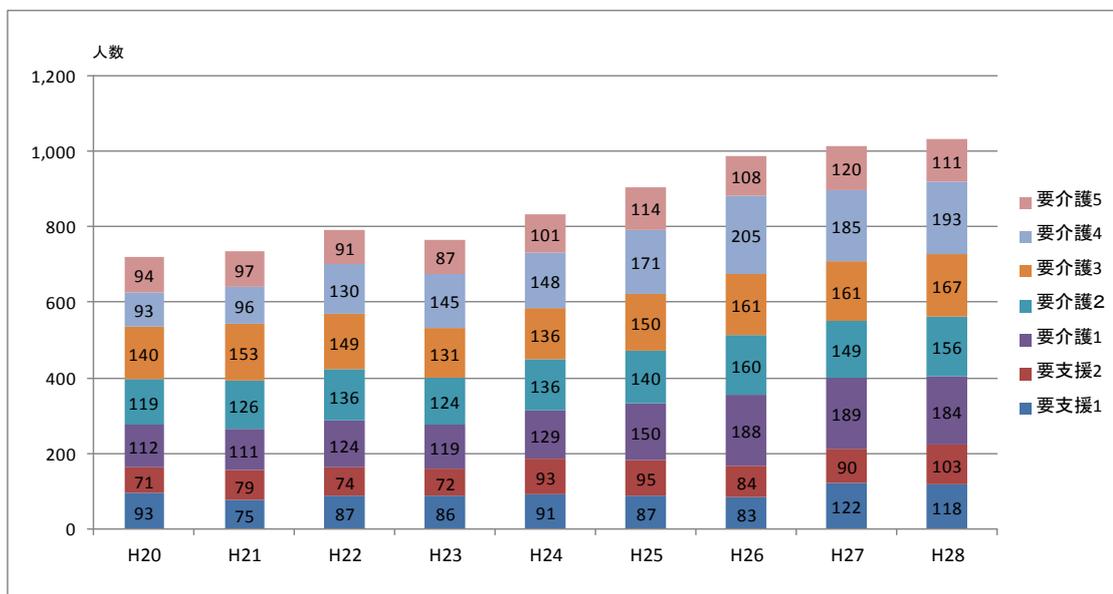
(1) 認定者数、認定率

認定者数、認定率ともに年々増え続けていきましたが、平成 23 年以降は上昇幅が鈍化傾向になり、平成 28 年では認定率が 15.8%と減少しました。しかし依然として高齢者の約 6 人に 1 人が認定を受けている状況です。

(図 1) 介護保険認定者数、認定率 (第 1 号被保険者)



(図 2) 介護保険認定者数構成



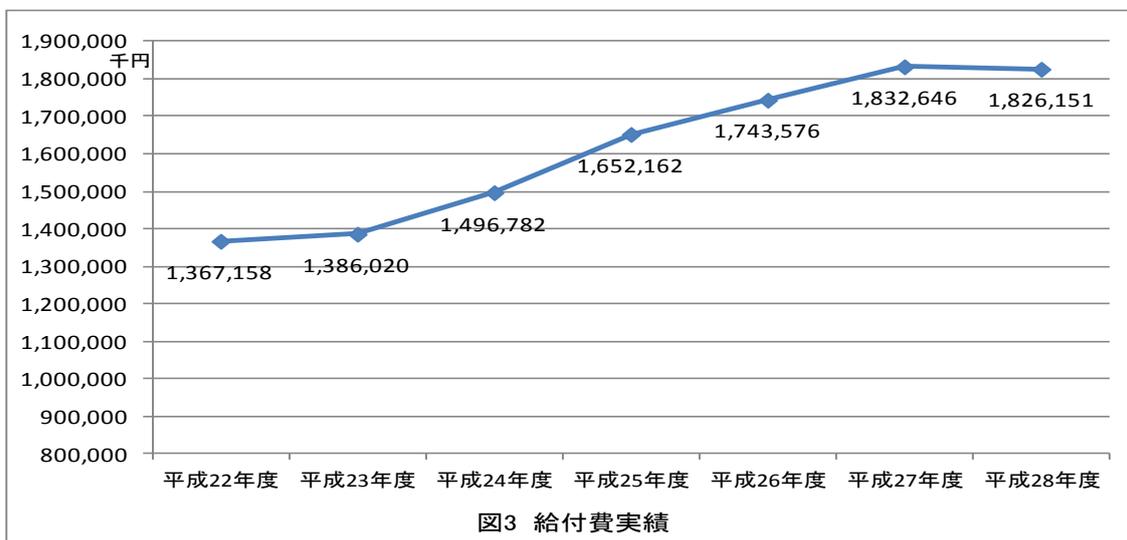
資料：介護保険事業状況報告（各年 10 月分報告）

認定率：「第 1 号被保険者の認定者」÷「第 1 号被保険者数」×100

※計画策定時は、介護保険事業年報各年 3 月時点のデータでまとめていましたが、『ことぶきプラン 2015』とデータの統一をするために、(表 1) (図 1) を各年 10 月時点のデータと差し替えています (H27.2 月)。差し替えに伴い、目標値の現状値も訂正しています (P.49①)

(2) 介護保険給付費

本町の介護保険事業に係る年間の給付実績は概ね増加傾向にあり、平成 22 年度から平成 27 年度までは毎年約 1 億円の伸びとなっています（図 3）。



(3) 介護・介助が必要となった原因疾患

介護・介助の原因となった疾患をみると、全体では「骨折・転倒」が最も高く、以下「心臓病」、「関節の病気」、「糖尿病」と続きます。男性では糖尿病が 1 位、女性では骨折・転倒が 1 位となっています。介護度別での原因疾患の順位は分かりませんが、計画策定時と比べて、心臓病や糖尿病が上位になっています。

介護・介助が必要になった原因（それぞれ比率の高い順）（複数回答）						
順位	全体	%（人）	男性	%（人）	女性	%（人）
1	骨折・転倒	18.7%（14人）	糖尿病	26.7%（8人）	骨折・転倒	28.9%（13人）
2	心臓病	16.0%（12人）	心臓病	23.3%（7人）	関節の病気	20.0%（9人）
3	関節の病気	14.7%（11人）	視覚・聴覚障害	20.0%（6人）	心臓病	11.1%（5人）
4	糖尿病	14.7%（11人）	脳卒中	10.0%（3人）	高齢による衰弱	11.1%（5人）
5	視覚・聴覚障害	13.3%（10人）	呼吸器の病気	10.0%（3人）	認知症	8.9%（4人）
6	高齢による衰弱	10.7%（8人）	高齢による衰弱	10.0%（3人）	視覚・聴覚障害	8.9%（4人）
7	脳卒中	8.0%（6人）	がん	6.7%（2人）	脳卒中	6.7%（3人）
8	呼吸器の病気	8.0%（6人）	関節の病気	6.7%（2人）	がん	6.7%（3人）
9	認知症	8.0%（6人）	認知症	6.7%（2人）	呼吸器の病気	6.7%（3人）
10	がん	6.7%（5人）	腎疾患(透析)	6.7%（2人）	糖尿病	6.7%（3人）
11	腎疾患(透析)	4.0%（3人）	パーキンソン病	3.3%（1人）	脊椎損傷	4.4%（2人）
12	脊椎損傷	4.0%（3人）	骨折・転倒	3.3%（1人）	腎疾患(透析)	2.2%（1人）
13	パーキンソン病	1.3%（1人）	脊椎損傷	3.3%（1人）	パーキンソン病	—
—	その他	18.7%（14人）	その他	16.7%（5人）	その他	20.0%（9人）
—	無回答	16.0%（12人）	無回答	16.7%（5人）	無回答	15.6%（7人）

出典 ことぶきプラン2018 日常生活圏域ニーズ調査結果

4 医療制度

(1) 国民健康保険

本町の国民健康保険加入者は、全国と比較すると一般及び退職ともに同程度です。前期高齢者の加入数は、全国と比較すると低くなっています。本町の国民健康保険加入者の一人当たりの医療費は、退職で全国と比較して高くなっています（表1）。

一人当たり医療費の推移をみてみると、いずれの年も全国と比較して低くなっていますが、県より高くなっています。平成27年度、平成28年度の一人当たりの医療費の伸びは7千505円で、計画策定時の平成23年度より減少傾向です（表2）。

(表1)

	全国(H28)		沖縄県(H28)		西原町(H28)		西原町(H24)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国保加入数	31,251,542	-	447,454	-	10,167	-	11,375	-
(再掲)前期高齢者	12,569,812	40.2	100,880	22.5	2,570	25.3	2,136	18.8
一般	30,483,644	97.5	439,628	98.3	9,874	97.1	10,777	94.7
退職	767,898	2.5	7,826	1.7	293	2.9	598	5.3

国保医療費	医療費		医療費		医療費		医療費	
	総額	一人あたり	総額	一人あたり	総額	一人あたり	総額	一人あたり
一般	10,711,707,518,000	351,392	132,628,102,290	301,683	3,085,156,931	312,453	3,004,136,807	278,754
退職	315,039,905,000	410,263	3,493,460,668	446,392	205,811,502	702,428	235,509,458	393,829

※国保加入者は、各年度国保健康保険事業年報より。

(表2) 国保医療費一人あたり費用額年次推移

	全国	(円)	沖縄県	(円)	西原町	(円)	県内順位
H20		281,761		232,982		234,932	22
H21		289,885		240,938		241,416	21
H22		299,333		251,282		258,263	18
H23		308,669		259,549		273,439	20
H24		330,744		268,473		284,803	15
H25		324,543		276,615		294,085	15
H26		333,461		287,062		303,824	16
H27		349,697		297,820		316,186	14
H28		352,839		304,214		323,691	15

※国民健康保険事業年報より

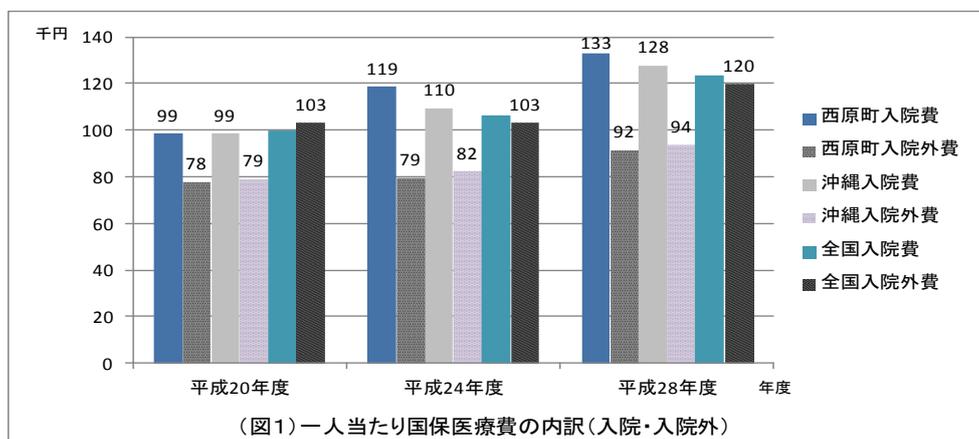
対前年伸び率 2.37%

H24年度は、国民健康保険の実態より。順位は、座間味村・北大東村を除く39市町村中の順位

(2) 国民健康保険内訳（入院・入院外）

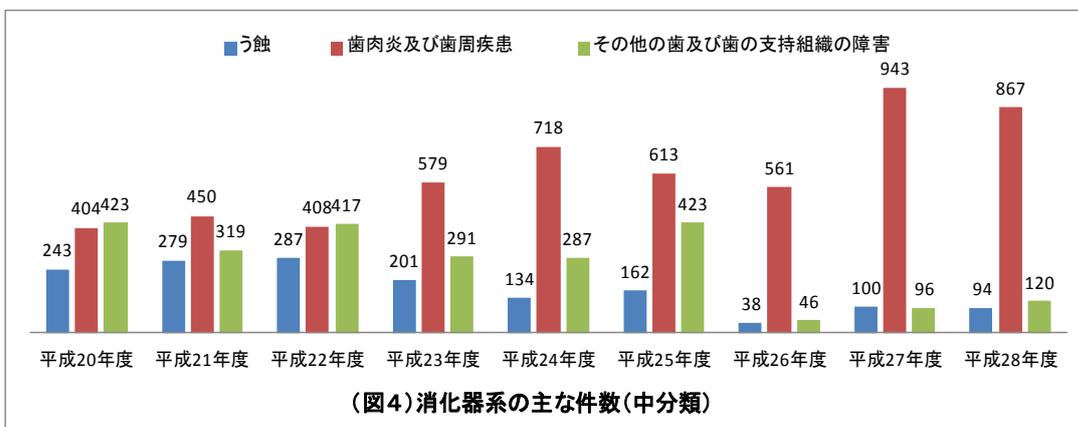
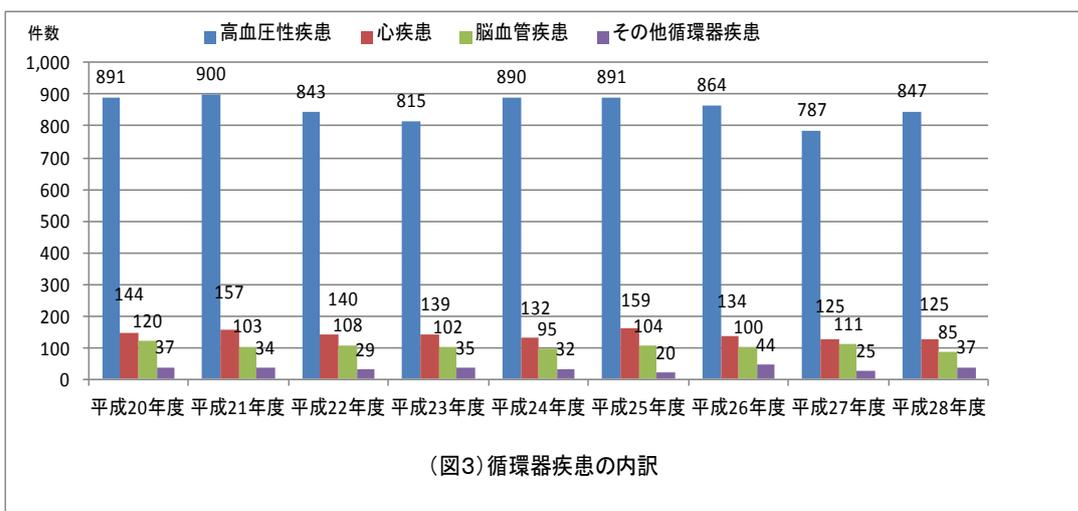
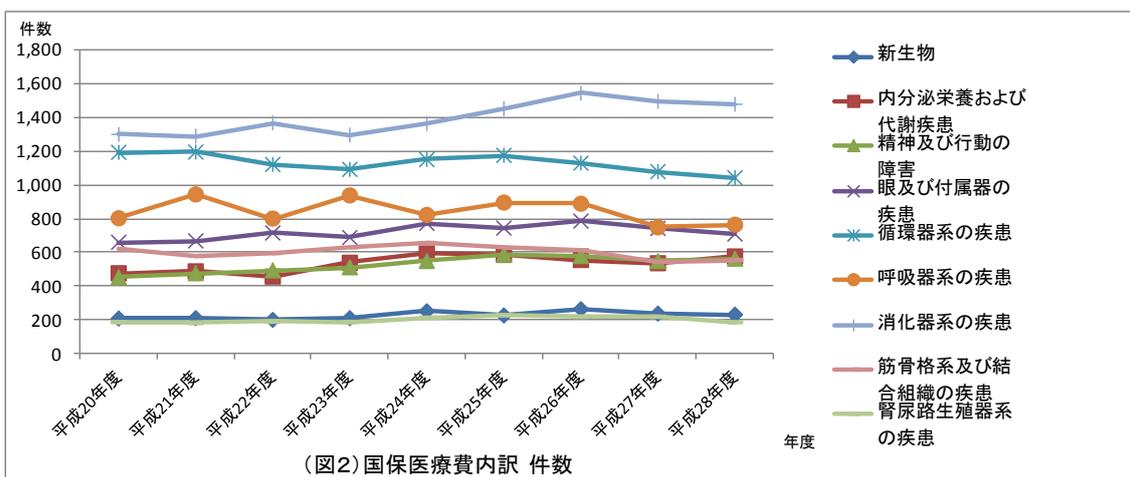
一人当たりの国保医療費の内訳をみてみると、西原町は沖縄県と同じように、入院費が入院外費と比較して高くなっています。全国は一人当たりの医療費が西原町や沖縄県と比較して高いものの、入院と入院外で大きな差は見られません（図1）。

また、西原町の入院費の伸び率は他の医療費の伸び率と比較しても高くなっています。入院する前の適切な治療行動がないため、入院費が高くなると推測できます。



(3) 国保医療費の件数内訳

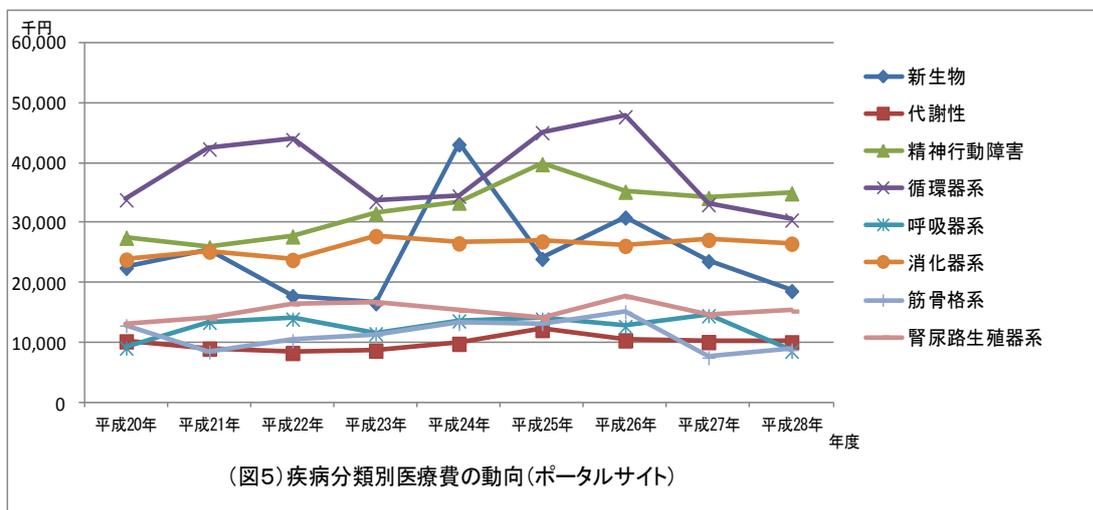
図2のグラフの通り、消化器系の疾患による件数が一番多くなっています。その次に循環器、呼吸器と続いています。循環器では、高血圧性疾患が多くを占め、その件数は800件を超えています(図3)。消化器系の中でも歯肉炎及び歯周疾患が多くを占めており、件数も伸びています(図4)。



国保統計情報 5月審査分より

(4) 国保医療費費用額内訳

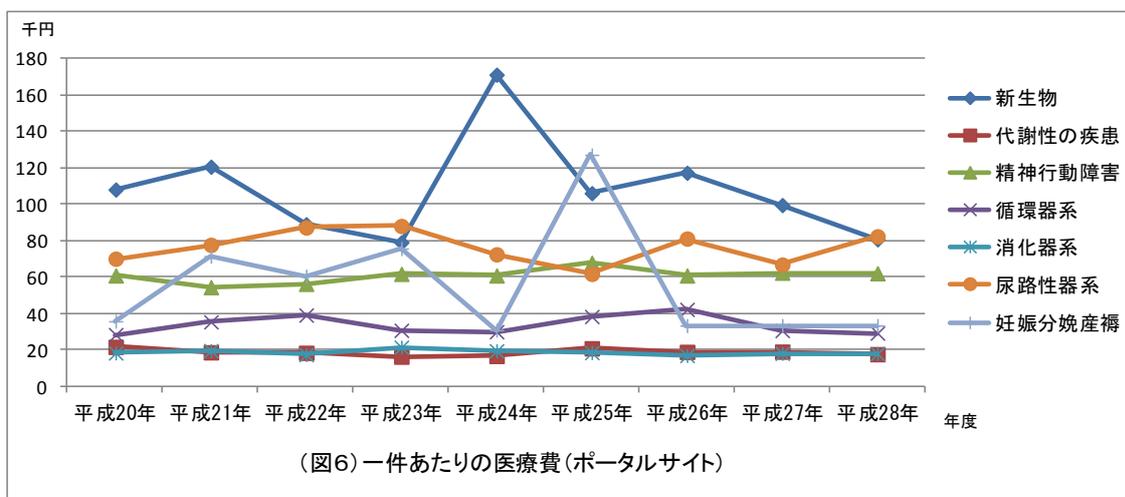
疾病分類別に医療費をみると、平成 23 年度までは循環器の医療費が高いですが、平成 24 年度では新生物が一番多くを占めています。平成 28 年度では精神行動障害が一番多く、次いで循環器、消化器が多くを占めています（図 5）。



ポータルサイト 6 月審査分より

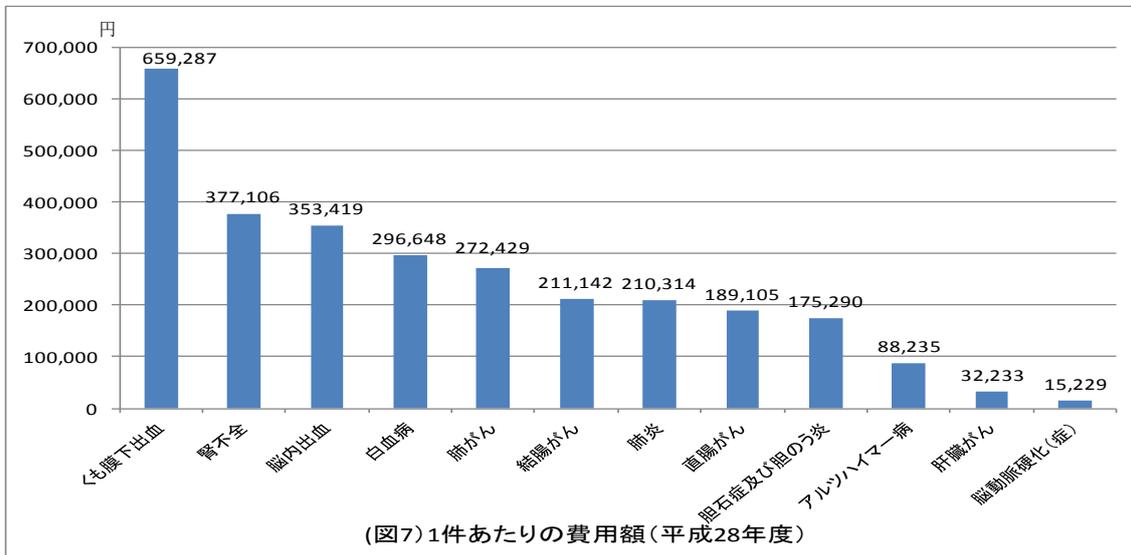
新生物等は 1 件あたりの費用額が高額になるため、件数の微増減が費用額の変動に大きく関わります。(図 6) 今後は生活習慣との関連が深い、乳がん、大腸がんの医療費が増加する可能性があります、これらのがんは予防可能であるとも言われています。

循環器疾患や代謝系疾患に含まる疾患（高血圧、虚血性心疾患、糖尿病等）は予防可能な疾患であり、件数は増えていますが、1 件あたりの費用額が減少しており、疾患が重症化する前の受診につながっていると推測されます。また、慢性腎不全を含む尿路性器系の件数、費用額が上昇傾向です。



ポータルサイト 6 月審査分より

疾患をさらに細かく分けて1件あたりの費用額をみると、平成28年度については、下の図の通り、くも膜下出血が1件あたりの費用額が大きく、次いで腎不全、脳内出血など食生活等生活習慣と関連のある予防できる疾患が多数を占めます（図7）。



(5) 後期高齢者医療

本町の後期高齢者の一人当たりの医療費は、平成25年度以降、全国や県と比較して高額になっています。平成27年度は費用額が減少しました（表3）。

(表3) 後期高齢者医療費一人あたり費用額年次推移

	全国	県	全国何位	西原町	県内何位
H20	865,149	964,042	7	1,019,162	8
H21	882,118	970,455	9	799,590	17
H22	904,795	992,184	9	748,442	26
H23	918,206	1,006,300	12	790,418	23
H24	919,452	1,005,706	12	821,279	22
H25	929,573	1,024,362	10	1,001,674	21
H26	932,290	1,022,608	12	1,034,011	14
H27	949,070	1,024,470	14	969,073	25

5 健康診査

(1) 特定健康診査

生活習慣病の発症予防、重症化予防の重要な取り組みである医療保険者による特定健康診査・特定保健指導は、平成28年度で受診率42.1%、保健指導実施率は71.3%となっています。特定健診受診率について、平成20年度から平成21年度にかけて8.8%(500人増)上昇、平成21年度以降は37%台から徐々に受診率が伸び、平成27年度に42%台となりました。しかし平成28年度は横ばい状態で55%の目標値には遠い状況です(表1)。特定保健指導実施率について、平成24年度では特定保健指導が必要と判定された対象者のうち45%以上、平成28年度では60%以上が特定保健指導を受けることを目標として定めています。西原町の実施率は、平成28年度で目標である60%は達成できています(表2)。

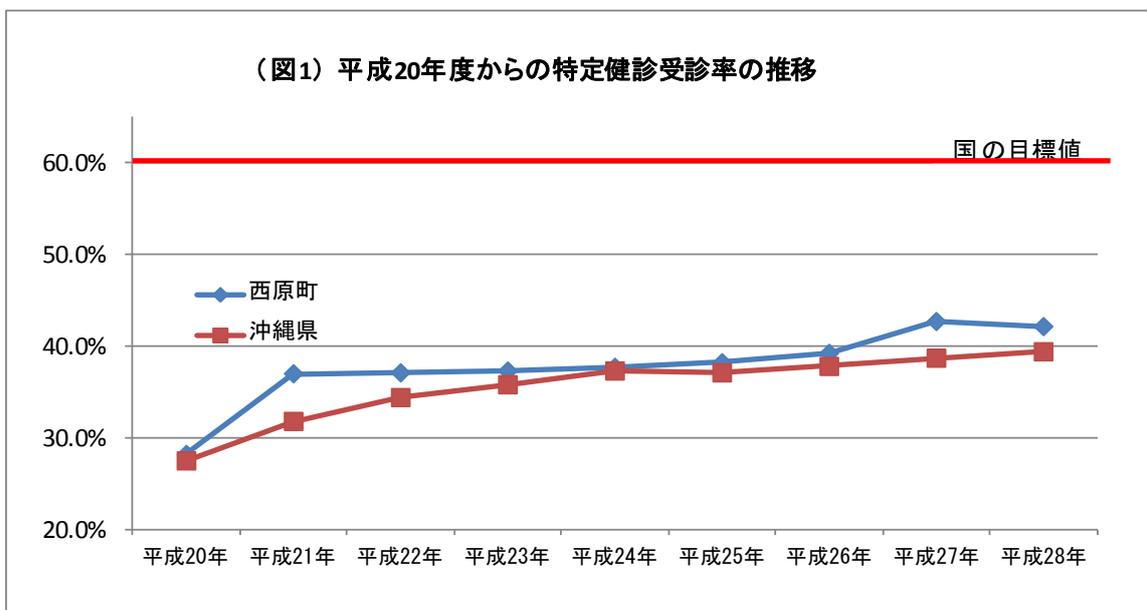
(表1) 特定健康診査の実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標(%)	25%	35%	45%	55%	65%	40%	45%	50%	55%
特定健診対象者数	5,665人	5,676人	5,789人	5,920人	5,944人	5,924人	5,812人	5,722人	5,567人
特定健診受診者数	1,600人	2,100人	2,147人	2,211人	2,239人	2,262人	2,280人	2,443人	2,346人
実績(%)	28.2%	37.0%	37.1%	37.3%	37.7%	38.2%	39.2%	42.7%	42.1%
沖縄県	27.5%	31.8%	34.4%	35.8%	37.3%	37.1%	37.8%	38.7%	39.4%

(表2) 特定保健指導の実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標(%)	45%	45%	45%	45%	45%	60%	60%	60%	60%
特定保健指導対象者数	350人	464人	419人	409人	409人	392人	371人	392人	366人
特定保健指導実施者数	81人	235人	233人	187人	188人	202人	222人	269人	261人
実績(%)	23.1%	50.6%	55.6%	45.7%	46.0%	51.5%	59.8%	68.6%	71.3%
沖縄県	28.3%	36.0%	42.1%	46.5%	48.8%	55.5%	55.7%	56.4%	58.7%

(図1) 平成20年度からの特定健診受診率の推移



	受診者数 (下段受診率)	Aのうち 次年度 健診対象者	健診受診者内訳		新規受診者	40歳 受診者	不定期受診者	
			継続受診者 (前年度の受診あり)	新規受診者				
	A	B			C	C'	D	
H24	2,240 --	2,142 95.6%	H24		--	--	--	
H25	2,263 --	2,139 94.5%	H25	1,535	728	728 32.2%	23 3.2%	--
H26	2,441 --	2,336 95.7%	H26	1,584	655	655 26.8%	23 3.5%	202 8.3%
H27	2,554 --	2,416 94.6%	H27	1,767	464	464 18.2%	18 3.9%	323 12.6%
H28	2,447 --	2,323 94.9%	H28	1,839	359	359 14.7%	29 8.1%	249 10.2%

* 継続受診者は前年度と比較して算出

* 新規受診者は過去に1回も受診したことがない者

* 不定期受診者とは前年度には受診していないものの、過去に健診を受診したことがある者

(2) 20代・30代健康診査

西原町では、20歳から39歳までの健康診査を実施しています。平成28年度の受診率は11.8%となっており、やや低下傾向です(図2)。

